

NOB MIYAKE

工房見学・金彩工芸体験



1. 三宅誠己紹介
 2. 工房見学
 3. 金彩工芸体験
 4. 打掛など作品鑑賞
 5. 記念撮影
-

1. 【三宅誠己紹介】

1967年京都生まれ、18歳から職人の道に入り37年着物づくり制作に従事してきた。手掛けた打掛は1万点以上。数多くの著名人の衣装を手掛け、2020年にはイギリス王室にも作品を提供した。『NSplus』『NOB MIYAKE』二つのブランドを運営し、着物だけではなくアクセサリやアパレルなども手掛ける。

2. 【工房見学】

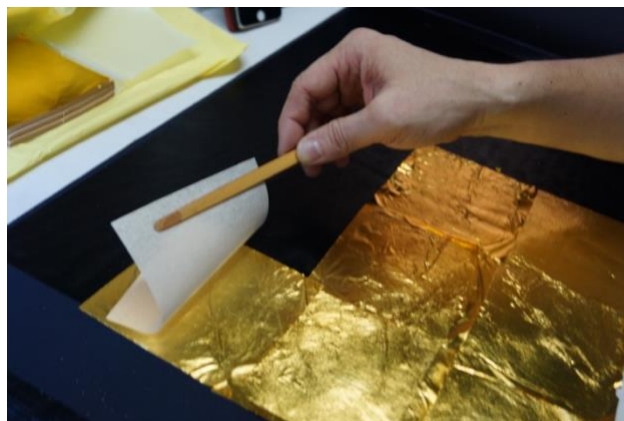
着物づくりの工程は、20から30工程あると言われ、その工程ごとに完全分業制で各工程ごとに別々の職人が着物の製作工程に携わるのが通常であるが、NOB MIYAKEの工房ではほぼ全ての工程を自社工房内で行なっている。

(工程一覧)

図案→下絵→糸目→地入れ→友禅染め→蒸し水元→防染→扱き染め→糊落とし→縁蓋テープ貼り→第一縁蓋→第一糊ひき→第一糊掃除→第二縁蓋→第二糊ひき→縁蓋テープ捲り→盛り上げ加工→仕上げテープ貼り→仕上げ縁蓋→金彩加工(箔押し、振り金、振り金暈し、暈し上げ、金暈し、雅金加工など多数の工程)→金加工後処理→螺鈿加工(貝を螺鈿に加工するのに多数の工程)→盛り金→地直し・検品→仕立て→最終検品

それらの工程のいくつかを実際に説明付きで見学していただく。

【様々な工程】



3. 【金彩工芸体験】

- 『図案描き』：紙に見本などを元にペンで図柄を描きます。テープを貼った後もテープに図案を写し描きます。



- 『テープ貼り』：ブルーのテープを皺にならないように生地に貼ります。



- 『縁蓋（えんぶた）』：デザインカッターナイフで図柄を工程に合わせてカットしていきます。

※生地は切ってしまうように注意が必要。

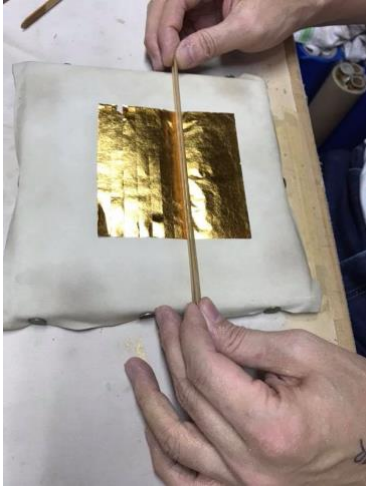


- 糊ひき



- 金彩工芸（箔押し、振り金、金暈し、螺鈿など）





4. 【打掛など作品鑑賞】

色打掛、白無垢、などの花嫁衣装。

屏風、宝箱、掛け軸、パネル、などのインテリア小物

ネクタイピン・カフスポタン、バレッタ、バッグハンガーなどのアクセサリー





BATMAN and all related characters and elements © & ™ DC (s22)

5. 【記念撮影】: 工房見学・金彩体験の思い出を職人との記念撮影で残していただきます。